

プラズマ・核融合学会誌

第83巻第2号

2007年2月

小 特 集	微小重力環境を利用したプラズマプロセスへの誘い	
	1. はじめに	三重野 哲 129
	2. 日本および海外における微粒子プラズマの微小重力実験の現状	足立 聡, 高柳昌弘, 依田真一 130
	3. 微小重力下低温プラズマにおける基礎物理化学	石川正道 134
	4. 試料浮遊溶融技術と無容器材料生成プロセス	栗林一彦 139
	5. 微小重力下プラズマCVDによるダイヤモンド生成	石川正道 144
	6. 無対流アーク放電による炭素クラスター合成	三重野 哲 151
	7. 溶融池中の対流に及ぼす4つの駆動力(プラズマ気流, 電磁気力, 表面張力, 浮力)の影響	藤井英俊, 野城 清 157
	8. 微小重力実験施設と利用方法	木暮和美 161
講 座	高速プラズマ流と衝撃波の研究事始め	
	2. プラズマ流計測の基礎	
	2.1 はじめに	安藤 晃, 門 信一郎 167
	2.2 プラズマ流の計測 ~プローブ法~	安藤 晃 169
	2.3 プラズマ流の計測 ~分光法~	門 信一郎 176
連 載 コ ラ ム	High Performance Fortran で並列計算を始めよう	
	7. もっと活用しよう HPF(1)	林 康晴 188
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト	193
インフォメーション	194
	幅広いアプローチ活動だより(1)	
	【会議報告】ITPA(国際トカマク物理活動) 会合報告(18)	
	【人事公募】	
本 会 記 事	学会賞候補者の募集	200
Plasma & Fusion Calendar	201
新着文献リスト核融合科学研究所	202

表紙の絵

超高強度レーザーを三角平板ターゲットに照射(照射強度 2×10^{18} W/cm²)した際の陽子放出分布。左の低エネルギー(～0.95 MeV)領域に見られる帯状の分布が、上に凸の三角平板の場合(上段)と下に凸の三角平板の場合(下段)とで上下反転しており、ターゲットの辺に垂直な方向へ陽子が加速されていることが分かる。いずれの場合も、右の高エネルギー領域(～3.2 MeV)ではターゲット面に垂直な方向に丸い分布が得られた。(Toshinori YABUCHI *et al.*, Plasma and Fusion Research Vol.2, 003 (2007). <http://www.jspf.or.jp/PFR/>)

【複写をされる方に】本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による内利用目的の複写はその必要はありません。(社外頒布用の複写は許諾が必要です) 権利委託先: 学術著作権協会 Tel 03-3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、直接発行団体へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC) (222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA Tel 1-978-750-8400; Fax 1-978-646-8600)